

各位

2024年1月10日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本  
TEL：03-5325-8547

### 旅行取扱状況の概観（令和5年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比62.2%、学生団体は同109.6%、団体旅行合計では同89.6%となった。企画旅行については2018年度比72.0%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比75.2%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比65.5%、学生団体は同22.0%、団体旅行合計では同44.0%となった。企画旅行については2018年度比41.8%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比41.7%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比68.2%と2018年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の11月の総取扱額は、前年比103.9%と前年を上回る結果となったものの、2018年度比65.6%と2018年度を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 国内旅行

国内団体については、博覧会・展示会や企業系コンベンションの大型案件の取扱いがあったものの、職場旅行・観光については取扱額が減少し、2018年度比62.2%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱人数が増加し、2018年度比113.5%となった。修学旅行以外の学生団体においては、林間学校や各種大会等の取扱額が増加したが、2018年度には及ばず、2018年度比79.1%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比89.6%となった。

国内企画旅行については、2018年度比72.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、紅葉関連の商品の取扱いが堅調であったが、2018年度比53.9%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、首都圏発の航空機・JR利用の旅行やひとり旅、テーマ型商品が好調に推移したものの、2018年度比80.6%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比75.2%となった。

##### 2. 海外旅行

海外団体では、スポーツイベントや文化イベントの取扱数が増加しているものの、職場旅行、視察・研修の取扱い件数が減少し、2018年度比65.5%となった。学生団体は、修学旅行では取扱い件数が2018年度には及ばず、修学旅行以外の学生団体においては、語学研修やホームステイ等の取扱件数が減少したことで、2018年度比22.0%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比44.0%となった。

海外企画旅行については、2018年度比41.8%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、「香港ディズニーランド・アナ雪新エリアオープン記念商品」が人気を博したものの、全体としては2018年度には及ばない結果となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面が牽引し、平均旅行単価が増加したものの、2018年度までの回復には至らなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比41.7%となった。

### 3. 訪日旅行

訪日旅行については、大型の国際会議案件や企業の報奨旅行など国際会議・企業系コンベンションを中心に堅調に推移したが、前月から約1.7倍の値上げとなった JAPAN RAIL PASS の取扱額の減少等により訪日旅行の総取扱額としては、2018年度比68.2%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから2018年度との比較にて表記。